

「水中処分母船 1 号」 艦艇公開で海上自衛隊を P R



新潟地本（本部長 1 陸佐 大倉正義）は6月1日（土）及び2日（日）の2日間、柏崎港において、「水中処分母船 1 号」の艦艇広報を実施し、海上自衛隊をアピールしました。



「水中処分母船1号」は、船尾に潜水員用の昇降機が設けられた水中処分隊の輸送及び作業支援を行うことが主な目的の船であり、柏崎港には水中処分母船見学を楽しみに親子連れ等が2日間で2117名が訪れました。一般公開では、乗組員から船内の潜水員の装備品についての説明を受けた後艦内を見学し、普段、船長以外座ることができない船長席に座り記念撮影を楽しんでいました。



また、2日目に行われた入港歓迎行事では地元の柏崎市長の他10名の来賓が参列し、柏崎市長が代表して「水中処分母船の船員の皆様、ようこそ新潟県へ。平成19年に発生した中越沖地震における献身的な災害派遣活動本当にありがとうございました。本日は、柏崎の幸を存分に堪能してってください」等と感謝及び歓迎の言葉を述べられ船長に花束を贈呈しました。その後、柏崎市長の他募集対象者等30名に特別公開し、体験喫食や船内見学及び装備品等の展示説明が行われ、市長や募集対象者らは大いに満足された様子でした。

新潟地本は岸壁に制服試着コーナーやスタンプラリーなどの広報ブースを設置し、また、第2普通科連隊（連隊長 1陸佐 榎野道彦）の支援を受け、指揮通信車及び1/2 tトラックの車両展示を実施しました。当日は、現地で新鮮な魚介類が手に入る「かしわざき港おさかな祭り」も開催され多くの来場者で賑わいました。



自衛隊新潟地方協力本部は、今後も艦艇広報を通じて、海上自衛隊への更なる理解を得るとともに、県内各地から未来の自衛官候補者の発掘に心がけ、防衛省・自衛隊を積極的にPRしていきます。